

浅木邸

北野クラブの浅木さんがお住まいのこの館。マンションや天ぷらのお可川にはさまれているので、道からはちょっと見つけにくい。楚々とした佇いでひっそりとしかも華麗。風にゆれる白いレースがなんとなく女らしさを感じさせる異人館だ。

アーボーイ邸、オクトーバー14、展望塔のある家、うるこの家(左はしに屋根が見える)と、この館のどしどしとした麓越しに見える風景も馴染みのキタノチョウという感じ。どこからかジャズが聞こえてきそうな……そんな情景です。

ハイカラ神戸の
伝統が育んだ
格調ある専門店

●このシリーズは
ファッション都市 KOBE への
私たちの願いをこめて

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

★ネクタイの

元町バザー

★靴のオーダーメイド

ヨシオカ

★オートクチュール

マスターニュートン

★世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE LINE

★よろず御襷衣縫上處

神戸シャツ

★舶来品ブティック

Sanohe

撮影 / 米田定蔵



4月の
画廊催しご案内
6階美術画廊

3・30/木→4・5/水

■志野焼
(第2回)林正太郎陶芸展

14/金→19/水

小津 卓 油絵展

7/金→12/水

〈第4回〉現代洋画秀作展

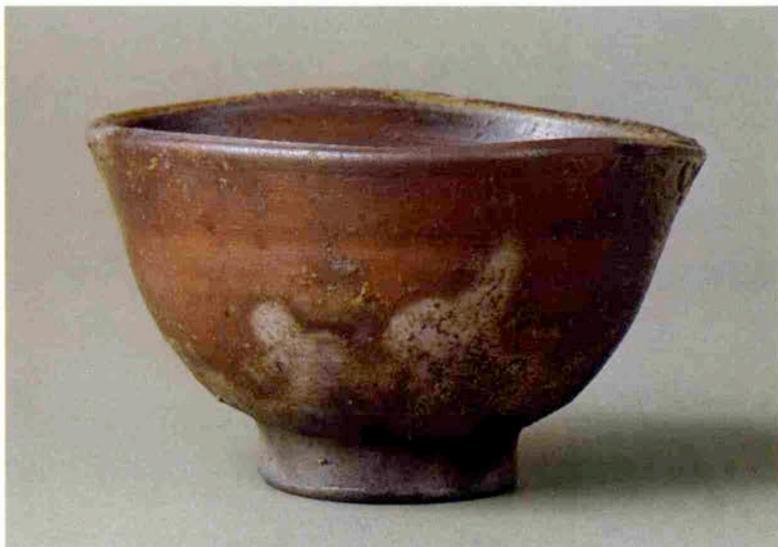
21/金→26/水

■第12回
レイ・クラフト創作ジュエリー展



神戸三ノ宮
そごう
〒078-221 4181

※写真作品についてのお問い合わせは、6階美術画廊内線(078)221-4181までご連絡下さいませ。



藤原 啓作
備前茶盃

〈そごう〉が選んだ

陶芸の粋

題字 望月 美佐

大鹿製陶所
(長崎 波佐見)



楚々とかがやく白い磁肌は
佳き日の引出物に
ぴったりです。

西
山



かたく焼きしめた白い有田焼の磁肌に、そのあでやかな花姿がふるくから愛でられている《牡丹と蘭》を映してみました。洗練されたシンプルな“かたち”に加えて、“レリーフ”のタッチが面白く……。お若い2人の晴れの門出にふさわしい引出物好適品かと存じます。

磁器の原点
白磁“彫”シリーズ
〈牡丹・蘭〉

■写真商品は……

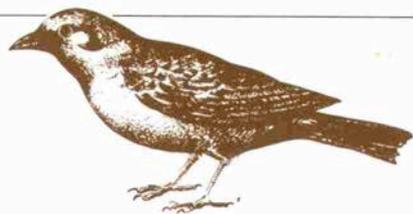
- 〈牡丹〉仙茶揃(木箱入・5客相)……………1,500円
紅茶セット(紅茶碗・受皿5客セット)……5,000円
スープセット(5枚セット)……………2,500円
ペリーセット(大皿1枚・小鉢5枚セット)・2,500円

◆〈そごう〉6階・特選陶器売場

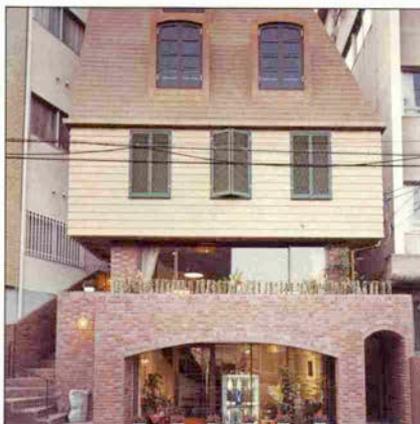


神戸三ノ宮
そごう
☎078 221 4181

見あげた枝に春が。
Spring Shopping



KITANO—CHO



真珠・宝石・アクセサリー専門店
サロン・ド・パール北野
岡添真珠(株) 栄光宝飾(株)
北野町4丁目44-2 電話222-1406



手づくりの店
がれりあ馬亜乃
北野町4-46-2 キタノサーカス山側
とに角一度のぞいてください。味のある漆・織・木彫と
民芸品の数々に魅了されるはず。電話242-15005



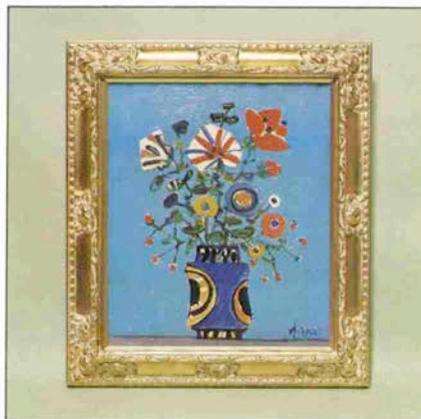
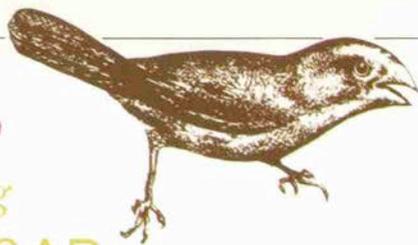
フラメンコの店
エル・ヴァイノ
北野町3-48 アニルドマンション 電話241-1344
白い壁と木のテーブルが落ち着いた大人の雰囲気。
スペイン料理とフラメンコギターを満喫できる。



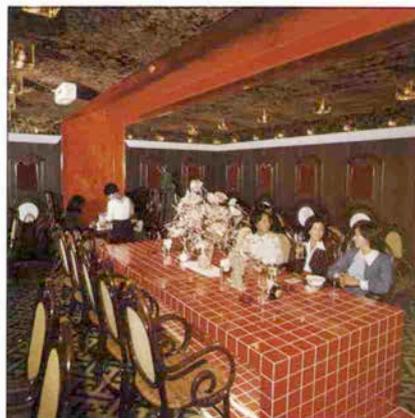
ドイツレストラン
ハイデルベルク
山本通2 ロイスガーデン2F 電話222-11424
ドイツの雰囲気本場のドイツ料理・ドイツビール
・ドイツワイン・アコーディオン生演奏。

春の坂道飛ばないか。

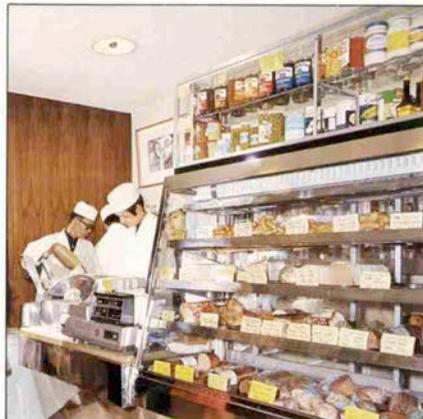
Spring Shopping
TOR—ROAD



画材・額縁
末積製額
トアロード・大丸前 電話 33111309
春になり戸外の緑も眼に鮮か絵を受する人に最適な季節です。お気軽にご相談ください。



トアロードの癒いのサロン
◎パウリスタ
三宮町2-34 パウリスタビルB1 電話 39110061
古い歴史と培われた味で神戸っ子に親しまれるパウリスタ。モダンな店内で豊かなひとときを。

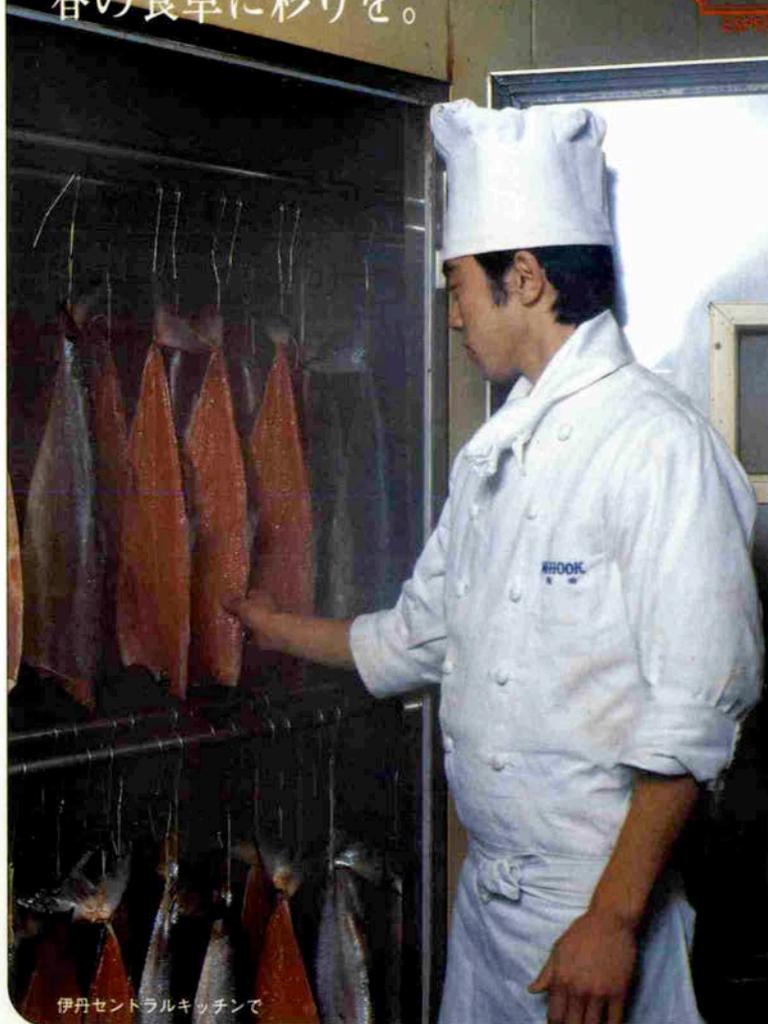


世界の食料品
デリカテッセン
トアロード 電話 33116535
スモークサーモン、ハム：この味はまさしく神戸の味



ポートレート
三宮写真室
中山手通2-62 NHK神戸放送局北隣 電話 24115530
お見合い写真を承っております。日・時などご予約ください。年中無休

スモークサーモンで
春の食卓に彩りを。



伊丹セントラルキッチンで

北野異人館通り **デリカテッセンの店**

FOOD BOUTIQUE

GASTRONOMIE

ESPECIALLY SELECTED FOR THE GOURMET

伊丹セントラルキッチンで造られた
フックのスモークサーモンは、まる
やかな舌ざわりで大好評。ガストロ
ノミ・大丸神戸店地下フックデリカ
テッセンコーナーでお求め下さい。
(ご贈答用に。¥6,000～¥10,000)



ガストロノミ 生田区山本通り2丁目
06 ローズガーデン1F

☎ (078) 222-1529 AM11:00～PM8:00 (水曜休)

レストラン **フック** 生田区栄町通
☎ (078) 321-3453

K.K. ロックフィールド 生田区元町通2丁目95
☎ (078) 321-2989

北野町へおいでに

なりませんか

……お可川でお食事を

風見鶏

喜多乃膳

1700円(サービス料10%)

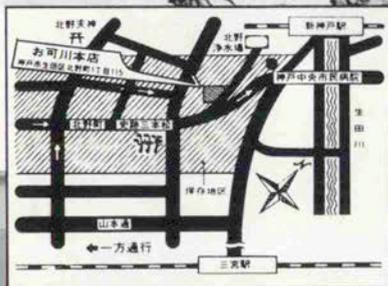
●一階椅子席にて(午後五時迄)

若いカップルから

ご家族連れの方のために

御献立しました。

お気軽にお立ち寄り下



神戸割烹

お可川

4月17日で5周年を迎えました
今後ともよろしくお願ひ申し上げます



STAND
司実

福山 里子
神戸市生田区中山手通 1 丁目72
TEL (078) 331-6985

ひとあじ違う味と雰囲気《エル》

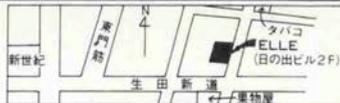


ボーカル・上岡克美毎夜出演



Salon de
ELLE

■御予算に応じて楽しい各種パーティを演出いたします。(日・祝日でも可)



生田区中山手通1丁目109〈日の出ビル2F〉

☎ 078 (332) 4 7 3 2 5:00PM~12:00PM(日・祝日休)

BEEF NOW april

雰囲気のあるさわやかさ

●味も心も満たされて……。



美味しいということはどういうことなのか。私は味覚だけでは満足できない生れつきで、心が満たされてはじめて、美味しいという実感がわく。その意味で、ここは私を幸せに包んでくれる貴重な店の一つである。

今月のお客さま 松井 一郎さん (神戸文化ホール館長)



ステーキ&ドリンクス

神戸館

神戸市生田区下山手通2丁目29-5 アマツビル1F (生田新道) ☎ 321-2955 PM5:00~AM12:00 日祝休

バレエ「風見鶏の湖」 を踊りました。



振り付け / 上月侑子先生 踊る人 / 鈴蘭台上月バレエ教室の生徒さんたち



KOBE CATERING Awajiya Co.,Ltd.

WEATHERCOCK

風見鶏弁当

淡路屋

〒650 神戸市生田区相生町2
☎(078)351-1682 (イロハニ)
テレックス5622-609

●北野坂のほとりにある小さなサロン神戸時代。 このサロンから新しい時代の波を●



沼田かず多作品展オープニングより
「人形の絵はどれも先生に似てふっくらかわいいうい」と集まった人々が異口同音に発する言葉。人柄に似て温かなパーテーションとなりました。



新谷琇紀作品展オープニングより
ミニ彫刻とミニレリーフが時代の壁をうめるとそこに新谷琇紀先生の不思議な世界が広がる。人気者らしく多士落々のお客様で神戸のエンターテイメントぶりが発揮された夜でした。

ギャラリー・ミニコンサートのご案内



石阪春生 素描展

4月1日→15日

女のいる風景が神戸時代にならびます。素晴らしい作品展を是非お楽しみください。



中畑佳子 近作展

4月17日→28日

神戸二紀の女流で、若手の中畑さんのみずみずしい作品群をお楽しみください。

*

宮田 隆
近衛 真理

ブローフラメンコの宵 4月11日・25日 7:00より

ミニコンサート 4月19日 7:00より

SALON & GALLERY

神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
モンジャトコートブキビル1F
TEL 078-242-3567
日曜祭日休・AM11→AM 0

お昼の営業もはじまっております。
コーヒー・紅茶250円/トースト150円

Chianti



キャンティ北店もおかげ様で

5

★キャンティで今宵も楽し……

周年。これからもお引立てを!

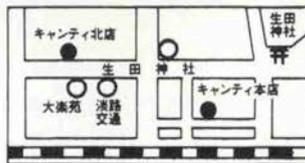


本店/洋酒の店 ☎ 391-3060
 神戸市生田区北長狭通213(日祝休)
 北店/スープとパンとドリンク
 神戸市生田区下山手通3丁目8-9(年中無休)
 ティータイム AM11:00~PM6:00 ☎ 331-2122
 ドリンクタイム PM6:00~AM1:00 ☎ 331-3661



小田イタルハモンド演奏
 毎夜8:00より

小集会・パーティはご予算
 に合わせてご利用下さい。
 ティーパーティ ¥ 600より
 ディナーパーティ ¥ 2500より
 (50名様まで)



安らぎのある生活空間に

カネボウベルエイシー社長

稲岡必三氏をたずねて



タオルの商品開発に積極的に取り組んできたカネボウベルエイシーが、2月、3月に催した展示会のタイトルは、「クオリティ・ニューライフ」。

まずマネキンが着ている真白なバスローブが目につく。淡いブルー、紺などシックで落ち着いた色合いが多いようだ。バスマット、化粧ポーチ、エプロンなどタオル製品の開発も目覚しく、楽しい。タオルは各ブランド共研究された新製品が登場している。

稲岡必三社長にお話を伺ってみると、

「カネボウベルエイシーでは、これからの商品開発については東京・青山と神戸の二つの拠点を軸にしていこうと考えています。東京では、青山が最も時流を反映する地域だと思われ、関西ではそれが神戸だと思っています。青山、神戸という土地柄や環境はこういったファッションビジネスの的にしたいですね。」

今までは「クリスチャン・デオール」「ハナエ・モリ」「プレイボーイ」の3ブランドを柱商品として力を入れてきましたが、これからは「ミア」「ベガ」といった自社ブランドの確立を強化しようという方針です。特に「ベガ」のバスローブ等は人気も出てきているし、普及するでしょう。生活と文化に根づいたタオルファッション、安らぎの生活空間に融合できるものを心がけていきます。」ということだ。

同社がニューライフ・カルチャープランの打ち出しと共に確立化した「ベガ」は高く評価されている。日本人に合った、日本人に好まれる商品提供を——という発想から開発された商品である。稲岡陽子企画室長は生活とファッションは切り離せないものであり、日常の生活、文化と結びついたクオリティライフを目指している。タオル製品の品質、機能、価格を追求したうえで、ファッション性を付加するという点で「ベガ」のバスローブは秀れているようだ。襟なしで着やすく価格も一枚九千八百円から一万七千八百円と手頃で、これからの家の中のくつろぎ着として一着は手に入れたいもの。

「Vega」のネーム入りの無地タオルは各色揃い、プリント地ボー



展示会風景 (大阪支店ショールームにて)

ダーなどが新鮮。「ハナエ・モリ」は機能的で美しいプリントに女性ファンが多い。「プレイボーイ」はカラーのコントラストが新鮮でアウトターに見せる要素が強い。個人消費としてよく売れているようだ。「クリスチャン・デオール」はファッション性に価値のある高級品で、手のこんだ技術がみられる。青山・神戸の生活環境の匂い、その生活信条を適確に吸収し、ニューライフスタイルをタオル製品に反映させていこうという姿勢は若々しい。

本社・〒650 神戸市生田区三宮町1-17-4(センタープラザビル) ☎(078) 392-2101番(代)

西日本営業部 同上

東日本営業部・〒107 東京都港区南青山3丁目1番1号(3D青山ビル) ☎(03) 403-3421番(代)

札幌駐在・〒062 札幌市豊平区中之島1-10 ☎(011) 822-9581番(代)

福岡支店・〒810 福岡市中央区薬院2丁目14番28号 ☎(092) 751-6912番(代)



プレイボーイ



ハナエ・モリ



クリスチャン・ディオール

タオルニューライフに向かって……

生活の中にカルチャーがとけこむ



生活空間のコーディネーター
カネボウベルエイシ株式会社

展示装飾ディスプレイ / (株) ベルファッション

こ・こ・ろ 飛・ん・で・い・る

★集いの輪がひろがるヨーロッパ感覚の街づくり。

仕事仲間には集いの場がないなんて……それじゃ人生の楽しみも半減。

ドレスアップしなくても、豪華な料理がなくてもいい——。

ほんとうに心から楽しければ、それがパーティーっていうんだ。

さあ、楽しくやろうよ、心うちとけて。

ここ(日生・鈴蘭台ニュータウン)は、もう一つの人生を見つける街。

よりファッションナブルな暮らしを願って星和グループが目指す理想のコミュニティです。



●この広告についてのお問い合わせは…星和住宅・星和地所の神戸分局まで
〒650 神戸市生田区三宮町1丁目(さんプラザビル3階) ☎078(391)6696~8



歳月を経るにつれ味わいが出るティールーム。
ヨーロッパの田舎町にくつろぐような居心地の良さがある。

インテリア・ダイアリイメント / ガスカード (三宮センター街3丁目) 設計施工 / 入船KK (担当・鮫島比登美)



企画・設計・施工のオールマイティ

入船株式会社

店舗・住宅・家具・室内装飾
一級建築士事務所・特定建設業

阪神電鉄新在家南 TEL 078(851) 3191 (代)

神戸市灘区新在家北町1丁目1-19 ブリコビル2~3F

●トータルインテリアショップ

グランド六甲ビル1~2F TEL 078(851) 2841

★神戸の催し物ご案内

4月

△音楽▽

★沢田研二

5日(水) ①2時 ②6時 神戸文化ホール A・三〇〇〇円
B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円
★紙ふうせん

6日(木) 6時半 神戸文化ホール A・一五〇〇円 B・二〇〇〇円 C・九〇〇円
★クロイドチアリ

7日(金) 7時 西宮市民会館 A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円
★アリス



アリス

7日(金) 8日(土) 6時半 神戸文化ホール A・二〇〇〇円 B・一八〇〇円 C・一五〇〇円
★ブラッドショット&パーボンストリートバンド

8日(土) 3時 ヤマハ神戸店5 Fスタジオ 五五〇〇円
★義連一

9日(日) ①2時 ②6時 神戸文化ホール 民音/二六〇〇円
★ホセ・リベルテラ楽団

10日(日) 6時半 神戸国際会館 民音/会員・二〇〇〇円 一般・二二〇〇円
★セカンドカミング&ドリッピングウエット

15日(土) 3時 ヤマハ神戸店5 Fスタジオ 三五〇〇円
★アンサンブルノヴァ

21日(金) 6時半 県民小劇場 一〇〇〇円
★山崎ハコ

21日(金) 6時半 神戸国際会館



山崎ハコ

S・二〇〇〇円 A・一八〇〇円

★杉田二郎インASHIYA

22日(土) 6時半 芦屋ルナホール 前売・一五〇〇円 当日・一八〇〇円
★佐良直美

22日(土) 6時半 神戸文化ホール 民音/二〇〇〇円
★スピリチュアル・ユニティ&エディバンド

22日(土) 3時 ヤマハ神戸店5 Fスタジオ 五五〇〇円
★パーカッションユニティ

23日(日) 6時 ヤマハ神戸センター 前売・一〇〇〇円 当日・一五〇〇円
★舟木一夫

23日(日) ①12時 ②3時半 神戸文化ホール A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円 C・一五〇〇円
★前橋汀子バイオリンリサイタル

24日(月) 7時 県民小劇場 一五〇〇円
★太田裕美と西岡恭蔵

30日(日) ①1時 ②4時 神戸文化ホール A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円
★内山田洋とクルルファイブ

30日(日) ①12時 ②3時半 神戸国際会館 A・二〇〇〇円 B・一五〇〇円
★加藤登紀子



加藤登紀子

5月2日(火) 6時 神戸文化ホール A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円

△演劇▽

★文化座「三婆」

19日(水) 21日(金) 6時15分 22日(土) ①1時半 ②6時15分 23日(日) 1時半 労演/一九〇〇円

★劇団四代会創立20周年記念公演

「あゝ8月の陽の如く」
28日(金) 6時半 29日(土) ②2時 ②6時半 30日(日) ②2時 一般・一〇〇〇円 学生・八〇〇円

★劇団四季

「カッコーの巣をこえて」
5月10日(水) 6時半 神戸国際会館
S・二八〇〇円 A・二三〇〇円 B・一八〇〇円
出演/日下武史 三田和代 鹿賀丈史

△その他▽

★映画「ロミオとジュリエット」
7日(金) ①2時 ②6時 神戸文化ホール 一般・一五〇〇円 中学生・二〇〇〇円 小人・一〇〇〇円
★市民映画劇場「さらば夏の光よ」
12日(水) 14日(金) 6時半 15日(土) 2時 神戸文化小ホール 四九九円
★モリス・ベジャール20世紀パレエ団



「春の祭典」より

5月4日(水) 6時半 神戸文化ホール S・二〇〇〇円 A・九〇〇円 B・八〇〇円 C・七〇〇円 D・六〇〇円

●愛読者優待席

神戸っ子読者に左記のメッセージを割引優待致します

★劇団四季

「カッコーの巣をこえて」
5月10日(水) 6時半 神戸国際会館
S・二八〇〇円 A・二三〇〇円 B・一八〇〇円をそれぞれ割引

★移川滄也独唱会
5月16日(水) 7時 県民小劇場 一五〇〇円を割引

★イーストマン管楽アンサンブル
5月30日(火) 6時半 神戸文化ホール



イーストマン管楽アンサンブル

ブラズバンドファン待望の世界最高の管楽アンサンブルという名声を得たイースト・ウインド・アンサンブルが一行四十四名で来日。指揮/ドナルド・ハンスパーガー A・三〇〇〇円 B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円をそれぞれ割引
★ア・ソル混声合唱団
6月1日(木) 6時半 神戸国際会館 指揮/イ・コカルス A・一八〇〇円 B・一五〇〇円をそれぞれ割引

★ワレリス・田原富子「フランス名作ソナタの夕」
6月2日(金) 7時 県民小劇場 三〇〇〇円を割引
★東京ゾリステン特別演奏会
6月7日(水) 7時 神戸文化小ホール 二〇〇〇円を割引

ご希望の方は電話か葉書で神戸っ子編集室・優待係(八川崎)まで

オーストラリアの旅から

赤尾 兜子 (俳人)



オペラハウスを背に筆者 シドニーにて

ペーパーを発表したが、旅立つ前から、ただ、口でいうだけではなく、俳句作品を目の前で墨書して、それらの人たちに見せ、目からその理解をふかめることもしておきたいと考えていた。それで私は、旅行カバンの中に、毛筆と、便利に運べるプラスチック製の容器に入れた墨汁、短冊を入れた。

ところで日本特集文学会議は、俳句にするどい関心が集まり、俳句に対する具体的な質問が、やつぎばやにとび出し、司会と通訳をした越智道雄明治大教授も、大あせをかいて、ハンカチで顔をぬぐうというような予想外の場面がうまれたのである。それは第三日の昼間のこと私はひとつの任務のようなものを果したので、ホッとしていると、その翌朝、朝食で顔をあわせた越智教授が、「デンマークの女流詩人、エリクソンさんが、今夜特別に時間をつくるから、俳句の朗読などをしてもらいたいと熱望なので、応じてもらえませんか」という。折角の所望ならば、ころよく受けますと答えておいた。ホテルのバスに入り、さっぱりした気分になって、さて、夜の会合にゆくため、旅行カバンを開いて、毛筆、短冊、墨を出し、点検してゆくと、墨汁がどうもあやしい。フタをあけて、容器をななめにしして、てのひらに液をおとしてみると、すこし灰色がかった透明な白なのである。「ああいけない」と、とっさに私は感じた。旅立つ前のあわただしさに、てっきり墨汁と信じて入れてきたのは膠(にかわ)の液であった。書もややクロウトになると墨をすって、それににかわの液をまぜる。その液をはる

オーストラリアは、のびやかな広い国である。たまたま、シドニーで「国際ペン世界大会」が開かれたのをチャンスに、私は日本ペンクラブ一行の一人として参加した。昨年十二月のことだったが、あちらは初夏、空気が澄みきって、空の青さは果しなくのびていた。

私が参加した第一の目的は、世界のペンマンに対して俳句のもつユニークさを強調、あわせて参加した各国の人たちの反響や関心の程度をたしかめることにある。あとひとつを、南半球の、この遠い国を訪れることによってその国を知り、ひいては日本とのちがいをしておくという辺りにあった。

その世界大会の文学会議で、私は「日本文化を理解する鍵(かぎ)としての俳句」と題して三十分ほど英語で



シドニーの騎馬警官



キングス・クロスの大クリスマスツリー

ぼるとはこんできたのである。ここにいたって、いくらジタバタしても、はじまらない。出たとこ勝負で、やるだけやるほかないと夜の会場へおもむいた。東京からきた俳人、上村占魚さんと一緒に。

会場には、六十人ほどの人が集まっています、そこで、シドニーへきて、私が即吟でつくった

雪もなきクリスマスツリー燦々と

を朗読、「ちようどクリスマスツリーの前なので大クリスマスツリーを、小公園に立てているが、初夏のこの国では雪がふらず、夜は飾った電球の光だけが、まばゆく光っている。それを詠んだ」というと、だれもがすでに見ているものだけに、納得のゆく表情がかえってきた。そのあ

とが私の問題の短冊の揮毫、みんなじつと、私の手もとを見ている。

シドニーへきてから、味覚探訪のすきな私は、ホテルで夕食をとらず、毎日、あちこちと美味を求めてうろついていた。その間、毎夜、この国のワインを飲んだ。赤も白も。値が割合に安く、しかも口あたりがとてみいのである。

夜のこの会場にも、そのワインが用意してあり、私のテーブルの上のグラスに赤いワインが入っている。反射的に私は、このワインで書いてみようと思いついた。しかしすこし色が薄いのではないか。横にすわっていた上村さんに「万年筆をもっているか」と聞くと、あるという。その万年筆のインクをグラスの赤ワインの中へ垂らしてもらった。

それに筆をひたして、私は、私の句を一気に短冊に書いた。赤とブルーのまじった淡い色の文字が短冊を走り、まず読める文字になっていた。何とか形がついたなと私は思った。短冊を上村さんにも分け、かれも私のやり方で揮毫した。

あとから耳に入った話では、その短冊が奪いあいになったというので、あるシンガポールの大学の教授はその翌日、ホテルの私の部屋をノックして、ぜひ書いてほしいという。残っていた短冊一枚に句を書いて贈った。

十余日の滞在のうち、キャンベラなどにも遊んだが、私が見つけたい魚料理の店が、いままも忘れられない。

それはシドニーの街から東北へ車で二十分、ワトソン入江（ワトソン）の浜辺にあるレストラン「ドイルズ」だ。店の外見は日本の浜辺の食堂のようによくはないのだが味一点ばりの店で、値も安い。山崎君という青年がコックをしていて、天然カキ、大きな黒鯛（ちぬ）の刺身、むらさきがい（貝）のポターージュに、私は十分に堪能した。しかし、街中の繁華などところにはさほどの美味はない。いずこもそれはおなじであった。

夏の洋幾日か経しも鯨見ず

□随想——「セガンチーニ展」によせて／伊藤 誠

誠

△神戸新聞社文化事業局局長△

アルプスの 牧歌と幻想



油彩「湖を渡るアヴェ・マリア」



ジュバンニ・セガンチーニ
「自画像」

七歳の少年は、ただ一人部屋に閉じこめられていた。高い所にある窓からは、雲の流れる空だけが見えた。寂しかった。ネズミが足下を走った。じっとしておれなくて部屋のすみの容れ物をあけた。女の衣類が何枚かと妙な仮面が出てきた。仮面の顔付きが恐いので放り投げ、衣類をも出しっ放しにして、泣きながらベッドで眠りこんでしまった。帰って来た姉（腹違いの姉だった）は怒りながらも、翌日から部屋の鍵だけはかけないで出かけるようになった。

ある日、彼ら二人が住むアパートの壁が塗り替えられることになった。少年には職人たちのそんな作業が面白かった。終わった後も、彼は壁の前から動こうとしなかった。何にも絵や模様を描いてない壁だったが、塗り

の濃淡やちよつとしたかげりから、彼はいろいろな風景や人のいる場面を想像して、離れられなかったのである。そんな中には、少年を遣して亡くなった美しい母の面影もあった。仕事を見つけてくるからな、と兄と二人で家を飛び出したまま未だに帰ってこない父の姿も見つけられた。少年は手ではなく頭で壁に自分なりの絵を描いていた。

ある日、少年は遂に家を飛び出した。近所のおばさんたちが、自分たちの町ミラノから歩いてフランスへ出かけ成功した青年の話をしているのを耳にしたからだ。子供に何が出来るとも解らぬままに、自分もやってみようと、フランスの方向に向かって歩き出した。気がつく道側の大木にもたれて眠っていた。もう暗くなっていたが大人がいて起こしてくれたのだった。どこの子だ……、名前はと言う……、何をしてるんだ……などと親切にたずねてくれた。わけを話すとその人はびびくりした。ともかく私の家へおいで、ということになった。翌日から少年はその家で百姓仕事を手伝うことになった。ブタを飼い、羊の世話もするようになった。仕事の合間にボツボツ絵を描くようになった。

——話はまだまだ後へ続くわけだが、これは架空の物語りの展開ではなく、画家ジョバンニ・セガンチーニの生涯の発端を一部たどった跡なのである。この後、十歳

を過ぎてから放浪罪のかどで検束され、非行少年院へ入れられ約二年間をそこで過ごすことになる。と、同時に絵を描くことへの意欲もつゆのり十六歳のとき絵を勉強するためミラノへ帰り、徒弟修業のようなことをしながら

美術学校の夜間部へ通う。そして二十歳で描いた作品が早くも画家たちの評判となるほどの技術を身につけるのである。二十二歳で学生仲間の友人の妹と結婚、本格的に絵の道へ進んでいく——という、まことに劇的な人生を送ったセガンチーニだった。一八五八年の生まれ。一八九九年という十九世紀最後の年に四十一歳で亡くなったのも不思議だが、その最期が、翌一九〇〇年二〇世紀の開幕を祝うパリ万国博への出品画制作途中の死というのも因縁めけば、その作品が「生」「自然」「死」という三部大作なのもひっかかる。彼の悲しい葬儀の様相がその連作中の「死」の画面そっくりなので妻が気を失いかけたという語り伝えも、こじつけめいてはいるものの、うなづかせる出来事と思われよう。

アルプスの麓の風物をこよなく愛し、幼くして死去した母を慕う思いのしみじみとこもった作品を創作し続けたセガンチーニは、日本へも明治の終わり、雑誌「白樺」などを通じて早くからその名は紹介されていながら、作品はわずか大原美術館の「アルプスの真昼」ぐらしか紹介されていなかった。今年、彼の生誕一二〇年と神戸新聞の創刊八〇年の二つを記念して、日本で最初の「セガンチーニ展」が県立近代美術館で開かれることになった。世界八カ国から借用した一〇〇余点の油絵、水彩、パステル、デッサン、版画から成る内容は、実は生国イタリア、後半生を送りそこで没したスイスの両国以外では世界でも初めての画期的な催しなのである。日本の美術愛好家にとっては永らく「幻の画家」であったセガンチーニの真髄に触れる絶好の機会だと思ふのだが…。

油彩「5月のアルプス」

◆セガンチーニ展は、4月29日～5月28日（月曜休）県立近代美術館で開催されます。一般七百元（前売五百〇円）大高生五百円（同三五〇円）中小生三百円（同一五〇円）です。
★神戸っ子愛読者20名様ご招待いたします。
葉書にて編集室までお申し込みください。

